

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network

Now

2026 No.607

7/1

JART情報
https://www.jart.jp

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



第89回公益社団法人 日本診療放射線技師会定時総会 開催される (Web併催)

2026年6月13日(土)午後2時からWeb会議システムを併用し、第89回定時総会が開催されました。Web会議・投票システムを用いて代議員の出席確認および投票が行われ、総会傍聴者向けにYouTubeでの中継配信も実施されました。

園田優理事の進行の下、江藤芳浩副会長による開会宣言に続き、上田克彦会長からあいさつがありました。上田会長からは、役員任期満了に伴う役員選挙について触れたほか、JART Vision 2040を振り返り、将来のあるべき姿に向けて運営していること、生涯教育システム(クリニカルラダー)においてe-ラーニングが開始されていること、昨年度の入会者数が減少したことなどが述べられました。また昨年度の事業運営について謝辞が述べられました。

続いて40人の2025年度物故者に対し、出席者全員で黙とうをささげました。その後、地区役員功労表彰24人、職員永年勤続表彰1人の紹介がありました。

総会運営委員会の石浦幸成委員長からは、委任状および議決権行使書に基づき、定款第18条にのっとり本総会の成立が告げられました。また総会議事規程第13条第2項に基づき、吉成亀蔵代議員(栃木県)、小林勝宏代議員(奈良県)の2人が議長候補者として立候補し、賛成多数で承認されました。総会職員任命についても、賛成多数で承認されました。

報告事項では、令和7(2025)年度事業報告、決算報告、独立監査人の監査報告、期末監査報告ならびに令和8(2026)年度事業計画、予算の内容が執行部・公認会計士・監事からそれぞれ報告されました。監査報告では、小川清監事より監事からの意見として「会員数・組織率の増加に向けた方策の実施と評価」「会務および会員サービスに支障を生じることなく会員情報システム更新を確実に実施」「他団体との協議・連携と共に診療放射線技師の職域確保」について述べられました。

代議員からは、告示研修修了者の最終目標数、入会者数減少への対策、学術研究助成金の採択者の減少、オートプシー・イメージング分科会の学会への移行、賠償保険の業務範囲の

拡大、2026年度の赤字予算などについて質問があり、執行部から説明がなされました。

審議事項では、第1号議案「令和8(2026)・9(2027)年度役員選任」が審議され、選挙管理委員会から定款第27条ならびに役員選任規程に基づき、立候補者の届け出が受理された理事33人(地域理事8人、会員外理事3人、全国理事22人)、監事3人(会員外監事1人)について信任決議がなされ、いずれの役員も信任多数で選任されました。

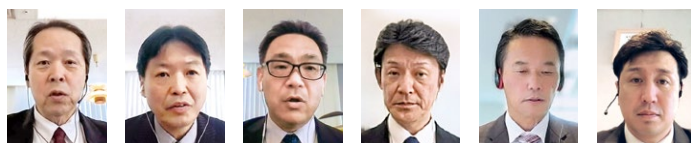
以上をもって、議長より全ての議事が終了したことが述べられました。

続いて、2026年9月11日(金)から13日(日)まで山形市で開催される第42回日本診療放射線技師学術大会の紹介と参加案内が、鈴木幸司大会長からありました。

最後に、富田博信副会長より閉会の辞が述べられ、本定時総会は無事に終了しました。

定時総会終了後に行われた第2回理事会において、新たに選任された上田克彦会長、富田博信・児玉直樹・江藤芳浩副会長、江端清和業務執行理事から就任のあいさつがありました。

本総会の詳細な議事内容は、会誌6月号「第89回定時総会資料」ならびに会誌に掲載予定の第89回定時総会議事録(抄)をご参照ください。



上田会長 富田副会長 児玉副会長 江藤副会長 江端業務執行理事 園田理事



小林議長 吉成議長

日本診療放射線技師会 2026・2027年度 新執行部

会長



上田 克彦
山口県

副会長



江藤 芳浩
大分県



富田 博信
埼玉県



児玉 直樹
新潟県



江端 清和
福井県

業務執行理事

理事 (外部理事)



豊田 長康
三重県



南雲 幹
東京都



杉浦麻由美
東京都

理事 (地域理事)



島崎 洋
北海道 (北海道地域)



鈴木 幸司
山形県 (東北地域)



平野 雄二
茨城県 (北関東地域)

理事 (地域理事)



柳澤 直樹
長野県 (南関東地域)



水口 仁
愛知県 (中日本地域)



半部 英敏
兵庫県 (近畿地域)



門田 敏秀
香川県 (中四国地域)



塩谷 正貴
福岡県 (九州地域)

理事(全国理事)



鈴木 賢昭
大阪府



西小野昭人
熊本県



根本 幹央
栃木県



木暮 陽介
東京都



村中 良之
福井県



野口 幸作
東京都

理事(全国理事)



後藤 太作
東京都



川守田 龍
大阪府



園田 優
千葉県



小倉 直子
千葉県



羽田 紘人
東京都



柴田 英輝
愛知県

理事(全国理事)



松尾 俊哉
長崎県



新城 雅
沖縄県



小林 聖子
北海道



西川 祝子
千葉県



秋田 隆司
広島県

監事



中村 勝
愛知県

監事(外部監事)



菊地 克彦
東京都



梅本 啓
神奈川県

事務局長



堀住 雄策



就任のごあいさつ



会長

上田 克彦

4期目の就任に当たり、これまでご支援いただいた皆さまに心より御礼申し上げます。これまで放射線診療全体の発展と社会的信頼の向上を目標に、本会は厚生労働省・環境省・原子力規制庁への診療放射線技師派遣をはじめ、関係団体との連携強化を進めることができました。告示研修は、都道府

県(診療)放射線技師会の皆さまの献身的なご協力のおかげで、厚生労働省が示した目標の99.5%の受講率となりました。原子力災害対策はALL JAPAN体制に近づき、JRCや放射線診療4団体連絡協議会による日本医学会総会2027への協働展示も進めています。JART Vision 2040の短期目標の多くは達成できました。2020年から3千人弱の会員数増加を実現しましたが、2025年度の入会が伸び悩み、財務面への影響も出てきております。今後は魅力ある事業運営を広報し、入会促進に一層力を注ぐ必要があります。多くの会員の皆さまの会費が次の施策を着実に進める根拠となっております。引き続きお力添えをお願い致します。



副会長

江藤 芳浩

このたび、第89回定時総会後の理事会におきまして、副会長を拝命致しました。

4期目を迎えるに当たり、課せられた責任の重さを改めて痛感しております。

少子高齢化と人口減少が急速に進む中、いわゆる2040年問題は、本会の運営や事業の在り方にも大きな影響を及ぼす重要な課題です。

引き続き「JART Vision 2040」に掲げる長期目標を確かな指針として、時代に即した事業改革を進めてまいります。

併せて、診療放射線技師職の存続と繁栄を見据え、さらなる業務拡大を図るとともに、高い専門性を堅持し、その社会的価値を広く発信してまいります。

また会員の皆さまの声に真摯に耳を傾け、一人一人にとって魅力ある事業を推進し、最重要課題である組織率向上に向けた実効性のある対策を講じてまいります。

微力ではございますが、診療放射線技師の輝かしい未来と次世代への確かな継承のため、誠心誠意、会務にまい進する所存です。

今後とも、一層のご指導とご支援を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。



副会長

富田 博信

このたびの選挙におきまして、多くの皆さまよりご支援とご信任を賜り、引き続き重責を担わせていただくこととなりました。厚く御礼申し上げます。これまで副会長として、会誌の電子化、SNSを活用した発信型広報、関係省庁・関連団体との連携、医療安全管理者養成研修会の実現、JART-JSRT協力体制の推進などに取り組んでまいりました。これ

らの経験を礎に、今後はさらに会員一人一人が本会に所属する意義とメリットを実感できる組織づくりを進めてまいります。特に、無料e-ラーニングをはじめとする教育支援の充実、都道府県技師会や養成校との連携強化、現場の課題を国や関係機関へ届ける政策提言に力を注いでまいります。診療放射線技師を取り巻く環境は、人口減少、病院経営の悪化、医療DX、タスク・シフト/シェアの推進など、大きな転換期を迎えています。このような時代だからこそ、現場の声を丁寧に集約し、診療放射線技師の専門性と社会的価値を高め、次世代へつなげる持続可能な職能団体の発展に全力で取り組んでまいります。



副会長

兎玉 直樹

会員の皆さま方におかれましては、平素より本会の事業に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また告示研修をはじめとする各種事業の推進に際し、多くの皆さまにご参加、ご支援を頂いておりますことに、改めて深く感謝申し上げます。

医療を取り巻く環境は、少子高齢化、地域医療の課題、医療技術の高度化などにより、日々大きく変化しています。その中で診療放射線技師には、専門性をさらに高めるとともに、多職種と連携し、患者に寄り添う姿勢が一層求められています。一人一人の自己研鑽は、確かな知識と技術を支え、ひいては安全で質の高い医療の提供につながります。特に若い世代の皆さまには、変化を恐れず、柔軟な発想と主体的な行動力をもって、これからの医療を担っていただくことを期待しています。

本会は今後も、会員の皆さまと共に歩み、診療放射線技師のさらなる発展と社会への貢献に努めてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

本会ホームページおよびJART情報システム (JARTIS) リニューアルのお知らせ

INFORMATION

このたび本会では、会員の皆さまへの情報提供および利便性向上を目的として、本会ホームページならびにJART情報システム (JARTIS) を全面リニューアル致します。

新ホームページおよび新JARTISは、7月28日 (火) の運用開始を予定しています。

新ホームページでは、構成やデザインを見直し、必要な情報へよりスムーズにアクセスできるよう改善するとともに、スマートフォン・タブレット端末にも対応しています。

また新JARTISにつきましても、会員マイページ機能を充実させ、各種申し込みや情報確認などをより円滑に利用できるよう改善しています。

なお、システム移行に伴い、現行の会員情報システム (JARTIS) は下記の期間で運用を休止致します。

休止期間中は講習会のお申し込みや、動画視聴を含むJARTISサイトの全サービスがご利用いただけませんのでご承知おきください。

■ システム休止日時：2026年7月14日 (火) から7月27日 (月) まで

【主なリニューアル内容】 ・ ホームページデザインおよび構成の刷新 ・ スマートフォン・タブレット対応
・ JARTISマイページ機能の改善 ・ 各種手続きの利便性向上

今後も、より利用しやすく有益な情報発信を行ってまいりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

JART Plus「STAT画像所見報告学習システム」一時利用停止のお知らせ

INFORMATION

平素は本会の諸事業に対しご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

会員情報システム更新に伴い、JART Plusの「STAT画像所見報告学習システム」は、**2026年7月1日 (水) から7月末まで一時的にご利用いただけません。**

会員の皆さまにはご不便をお掛け致しますが、再開後は症例数を拡充し、より充実した学習コンテンツとしてご利用いただける予定です。

リニューアル後の「STAT画像所見報告学習システム」にぜひご期待ください。

2026年度 第1回理事会 開催される (Web併催)

2026年5月23日 (土) 午後2時より、2026年度第1回理事会が日本診療放射線技師会事務所でWeb会議システムを併用して開催されました。

冒頭に上田会長よりあいさつがあり、2026年度の運営について、JART Vision 2040の振り返り、短期目標の追加、会員数増加のための入会促進、ならびに関係学会等の協力を得ながら新たな生涯学習クリニカルラダーの検討を進めていきたい旨が述べられました。また医療関係職種の安定的な養成・確保に関する検討会、および医療機関のセキュリティーに関する医療情報人材の連携活用の検討会についての情報提供がありました。

本理事会の主な議題は、「第43回JCRTコンベンション選定」「第43回JCRT大会テーマ」「令和7 (2025) 年度事業報告」「令和7 (2025) 年度決算報告」「教育委員幹事の廃止と教育委員の所属変更」でした。

初めに鈴木理事、福岡県塩谷会長より、第43回JCRTコンベンション選定について説明がありました。選定された4社のうち、3社から提出された収支予算書計画書と見積書を基に比較検討した結果、最も安価な提案があった企業を選択する案が提示されました。審議の結果、本件は全会一致で承認されました。

続いて福岡県塩谷会長より、第43回JCRT大会テーマ案について説明がありました。テーマは「道をひらく光となれ～志と革新が導く放射線診療の新時代～」であり、これからの放射線医療を担う私たち一人一人が、自らの役割を見つめ、未来へ向かう道を切り拓いていかねばならないという思いを込めていること、そして学術大会がそのような学びの場となることを願っている旨が述べられました。審議の結果、本件は全会一致で承認されました。

次に上田会長より、令和7 (2025) 年度事業報告について

説明がありました。告示研修は99.5%の達成率であり、タスク・シフト/シェアの実施状況やワクチン筋注行為に関する講習・実技講習会は2千人以上が修了していることなどが報告されました。その他、診療報酬改定、原子力災害医療、IMRTの施設基準緩和、国際事業などについても説明がなされました。加えて園田理事より、事業報告に記載された詳細項目について説明がありました。審議の結果、本件は全会一致で承認されました。

続いて江端業務執行理事より、令和7(2025)年度決算報告について、貸借対照表、正味財産増減計算書、事業別の収支実績表を基に説明がありました。経常収益は2024年度に比べ約4,770万円の減少となり、経常収益のうち会費に関する納入収益が67.4%、事業収益が29.4%を占めることが報告されました。審議の結果、本件は全会一致で承認されました。

また園田理事より、教育委員幹事の廃止と教育委員の所属変更について説明がありました。教育委員幹事を廃止し、地域理事の役割を地区技師会との調整業務に限定した上で、本会の事業・学術活動などの説明・調整を行うことが提案されました。またオンデマンド学習の普及に伴い、教育委員の所属を地域委員会へと変更し、次年度までに役割が不明確な場合は廃止することが提案されました。加えて地区技師会との連携強化策として、全国地区連絡協議会を年2回開催するこ

とが提案されました。審議の結果、賛成多数で承認されました。

その他の議題として、「第2回JCRTM会則・覚書」「総会次第案」「事業計画の一部修正」「医療被ばく低減施設新規認定施設」「サーベイヤーへの選任」「入会者・退会者・会費免除の承認」の議案も審議され、いずれも全会一致で承認されました。

報告事項としては、小川監事より令和7(2025)年度監査報告の説明がありました。監査の結果、事業報告および財務監査結果は適正であると報告されました。加えて監事からの意見として、①会員数・組織率の増加に向けた方策の実施と評価 ②会員情報システム更新を確実に実施 ③他団体との協議・連携と共に診療放射線技師の職域確保——の3項目が提示されました。

また堀住事務局長より会員動向について、2026年4月末の時点で会員数が33,354人、組織率は55.9%であると報告されました。

その他、各地域理事、各種委員会、分科会から44項目の報告がなされました。

最後に、上田会長からのあいさつをもって本理事会は終了しました。詳細は、本会会誌に掲載される2026年度第1回理事会議事録(抄)をご参照ください。

2026年度 第2回理事会 開催される(Web併催)

2026年6月13日(土)午後3時より、2026年度第2回理事会が三田国際ビル会議室でWeb会議システムを併用して開催されました。

理事会の主な議題は、(1) 会長(代表理事)1名・副会長3名・業務執行理事1名の選出について (2) 2026年度・2027年度の常勤役員就任 (3) 令和7(2025)年度事業報告修正案 (4) 2026年度・2027年度 委員長・分科会長の選任 (5) 畦元将吾代議士の本会顧問等の委嘱について (6) 地域委員会の地域委員の旅費について——でした。報告事項は、(1) 学術大会の派遣理事について (2) 今後のスケジュール (3) JARTメールの変更について——でした。

総会の第1号議案「令和8(2026)・9(2027)年度 役員選任について」の終了後、直ちに本理事会が開催され、議題「(1) 会長(代表理事)1名・副会長3名・業務執行理事1名の選出について」が検討されました。執行役員は前年度までと同様に、会長には上田克彦氏、副会長には江藤芳浩氏、富田博信氏、児玉直樹氏、業務執行理事には江端清和氏が就任しました。なお、ここで本理事会は一時中断し、第89回公益社団法人日本診療放射線技師会代議員への執行役員の紹介を経て、理事会が再開されました。



上田会長から新体制の始まりに際しあいさつがあり、新役員ならびに事務局職員の自己紹介が行われた後、議題(2)から再開しました。「(2) 2026年度・2027年度の常勤役員就任」については、常勤役員報酬が適用されることから理事会で審議されました。「(3) 令和7(2025)年度事業報告修正案」では、総会資料の令和7(2025)年度事業報告の総括において、告示研修の申込者数と修了者数は資料作成時点の数値を掲載していましたが、総会開催時点に更新された数値としての修正案が提示されました。

詳細は、本会会誌に掲載される2026年度第2回理事会議事録(抄)をご参照ください。

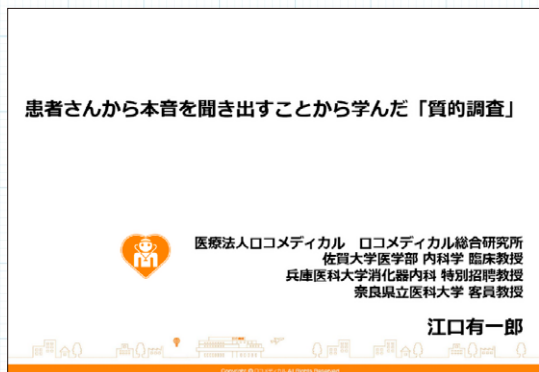
2026年度 第1回 診療放射線技師のための 調査研究スキルアップ セミナー 開催報告 (Web開催)

調査委員会 委員長 後藤 太作

2026年5月14日(木)午後6時30分より、本会調査委員会主催による第1回診療放射線技師のための調査研究スキルアップセミナーを開催しました。委員会として初めてのセミナー開催でしたが、募集定員200人が満員となり、開催前から高い関心が寄せられたセミナーとなりました。

今回、消化器内科医師でもある江口有一郎先生(医療法人ロコメディカル 理事長・ロコメディカル総合研究所 所長)を講師にお招きして、「質的調査(インタビュー/観察)編」をテーマにご講演いただきました。江口先生から『患者さんから本音を聞き出すことから学んだ「質的調査」』と題して、佐賀県で取り組んだ肝炎ウイルス検査の受検啓発活動や福島県での甲状腺検査に対するインタビュー調査など、質的調査の具体的な手法や事例、成果を示しながらご講演いただきました。質疑応答では、実際に質的調査でうまくいかない悩みや、江口先生ならどう取り組むかなど活発な議論が行われました。

事後アンケート(回答50件)を見ると、20~30代が24%、40~50代が58%、60代以上が18%で、あらゆる世代に受講いただいたことが分かりました。受講理由(複数回答可)として、企画内容の良さ37%、自己啓発31%、業務・研究の課



Positive Deviance Approach (PD)

- 直面する課題の中で、通常取られている行動と望ましい状態との差を特定する(観察)
- 特に医療者は「どうして〇〇してくれないんだろう?」と困った結果の原因究明をしなくなる
- このヘンテコな僕を好きになつてくれたの?
- 誰も来てくれないこの病院にどうしてあなたは来てくれたの?

ネガティブ質問では本音は出ない(特に日本人)
ポジティブ質問では本音が出やすい(世界中の印象)

Wishik SM, et al. The use of nutritional "positive deviants" to identify approaches for modification of dietary practices. Am J Public Health. 1976;66:38-42.

題解決24%の順に高く、満足度は10点満点中8.48点と、参加者の皆さまにとって満足度の高い有意義なセミナーになったと感じています。

今後も調査委員会では、診療放射線技師の皆さまが現場の課題をより深く理解し、改善につなげられるよう、社会調査に関するセミナーを継続して開催してまいりますので、ご参加のほどよろしく申し上げます。

英文誌 Journal of JART –English edition 2026– 配信のお知らせ

このたび、英文誌 Journal of JART –English edition 2026–を配信致しました。本誌の内容は、学術コンテンツとしまして、JART会誌へ掲載済みの論文・寄稿の中より優れたものを掲載しております。

※英文誌 Journal of JARTは、会員の皆さまに電子配信とさせていただきます。以下の本会Webサイトより、ご自身でダウンロードくださいますようお願い致します。

本会ホームページの「会誌・投稿」の「Journal of JART –English edition–」からダウンロードできます。

ダウンロードURLは、<https://www.jart.jp/journal/jart-en/index.html> です。



「Journal of JART –English edition–」 J-STAGE掲載のお知らせ

「Journal of JART –English edition–」は、J-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)に掲載し、論文を会員内外に広く発信しています。J-STAGEは、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が運営する電子ジャーナルプラットフォームです。論文検索など有効にご活用ください。

INFORMATION

INFORMATION



第10回

第42回日本診療放射線技師学会大会

山形への道 Go To YAMAGATA

実行委員 夜の大会長 荒木 隆博
(山形県立中央病院)



情報交換会のご案内 ～山形的美食美酒と伝統芸能を堪能する夜～

全国の会員の皆さま、山形大会での学びを深めた後、全国の仲間たちと親睦を深める場として欠かせないのが「情報交換会」です。本大会では、山形の魅力を存分に味わっていただき、記憶に残る特別な一夜となるよう、実行委員会で趣向を凝らした企画をご用意致しました。

山形ならではの美食と美酒に舌鼓

情報交換会（会場：山形国際ホテル）は、全国から集まる仲間たちと気兼ねなく交流を広げていただけるよう、立食形式でご用意致します。お料理は、地元ブランド「**米の娘豚**」のローストや、山形の秋の風物詩ともいえる名物「**芋煮**」、そしてシメに欠かせない「**そば**」など、地域性の強い特製メニューをお楽しみいただけるよう準備を進めております。山形ならではの美食を心ゆくまで堪能ください。お飲み物はビール・ウイスキー・焼酎・ソフトドリンクなどに加え、今回も日本診療放射線技師学会大会ではおなじみの企画をご用意しました。山形を代表する素晴らしい美酒はもちろんのこと、何と**他46都道府県から集まる全国各地の銘酒や焼酎・ワイン・ウイスキー**などをずらりと取りそろえます。各都道府県のご協力により実現した、この場限りの美酒を酌み交わしながら、全国から集う仲間たちと大いに語り合しましょう。

山形の伝統文化を体感する熱気あふれるアトラクション

宴を彩るアトラクションも山形ならではのラインアップです。乾杯後には、山形名物「**花笠音頭**」を山形大学花笠サークルの四面楚歌さまにご披露いただきます。ぜひ皆さまも手拍子や掛け声だけではなく、一緒に踊っていただき、「ヤッショー、マカショ！」の掛け声とともに会場全体で熱気をつくり上げましょう。中盤には華やかな「**やまがた舞子**」の演舞も予定しており、山形の粋と風情を存分に感じていただける構成です。

【当日のタイムスケジュール（予定）】

- 19:00～ 来賓あいさつ
- 19:15～ 乾杯
- 19:20～ 花笠音頭（四面楚歌さま）
- 19:40～ 歓談
- 20:00～ やまがた舞子
- 20:40～ 歓談
- 20:50～ 閉会のあいさつ



花笠音頭



やまがた舞子

情報交換会の後は、夜の山形の街へ！

21:00に会が終了した後は、ぜひ山形の夜の街へ繰り出してみてください。会場からほど近い「**山形駅前**」や、少し足を延ばした繁華街「**七日町（なぬかまち）**」周辺には、山形のおいしい食材や地酒をゆっくりと楽しめる名店が数多く集まっています。学会の余韻に浸りながら、気の置けない仲間たちと心ゆくまで山形の夜を満喫してください。

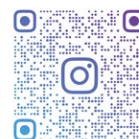
学会での学びの後は、極上の美食と全国の美酒を囲み、一緒に踊って笑い合う、忘れられないひとときを過ごしませんか？ 実行委員一同、皆さまに最高の「お・も・て・な・し」ができるよう準備を進めております。多くの方々のご参加を心よりお待ちしております！



JCRT42
YouTubeチャンネル
<https://www.youtube.com/@JCRT42>



山形県放射線技師会
Facebook
<https://www.facebook.com/profile.php?id=61574051232747>



山形県放射線技師会
Instagram
<https://www.instagram.com/yamahogi/p/>



第42回 The 42nd Japan Conference of Radiological Technologists

日本診療放射線技師学術大会

第33回 東アジア学術交流大会

The 33rd East Asia Conference of Radiological Technologists (EACRT)

新たな潮流 紡ぐ灯

人とAIがもたらす放射線技術の未来

JARTスローガン

安全と信頼、診療放射線技師の使命と責任を果たそう



日時

2026
9/11 Fri - 13 Sun

場所

山形ビッグウイング
(現地開催+オンデマンド)

立石寺 (山寺) 不滅の法灯

会長

上田 克彦
公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長

主催 | 公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催 | 一般社団法人 山形県放射線技師会

大会長

鈴木 幸司
一般社団法人 山形県放射線技師会 会長

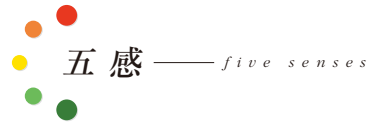
後援 | 厚生労働省(予定) / 公益社団法人 日本放射線技術学会
山形県 / 山形市(予定)

大会事務局

一般社団法人山形県放射線技師会
〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2
山形大学医学部附属病院放射線部内
Tel : 023 (628) 5786 Fax : 023 (628) 5799
E-mail : 42jart@gmail.com

愛犬の五感

シリーズ連載
series serialization



うちの2歳になるくうちゃん(ペキチー：ペキニーズとチワワのミックス犬)と一緒にいると「五感の鋭さ」に驚かされる。愛犬は味を感知する味蕾の数^{みらい}が人に比べ約2割しかないため、ワンちゃんの食欲を刺激するのはまず嗅覚だといわれる。その嗅覚は人に比べ約数千から数万倍といわれる。視覚は青色と緑色の2色の組み合わせで色を知覚しており、動くものに対する

視力は発達しているが、動かないものに対する視力は人間ほど発達していない。触覚としては、尻尾・足先・鼻先・口周りなどの部位は触られることを嫌がる傾向にあり、痛みに関しては鈍感だが、痒みにおいては人よりも敏感といわれる。そして聴覚においては人と比べて高周波音域が広く、人には感じられない超高周波を感知する。わが家の愛犬も、家の扉が開く前に、しっぽを振って笑顔(のように感じる)で家族を迎えてくれる。われわれ診療放射線技師も患者さんの緊張や言葉なき声、身体の痛みやサインを見逃さないためにも、五感を研ぎ澄まして患者さんを迎え入れたい。(文責：木暮 陽介)

診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーのお知らせ

INFORMATION

- フレッシューズセミナー開催予定： 石川 7月 5日(日) 愛知 7月 5日(日) 福井 7月11日(土)
- 高知 7月11日(土) 長野 7月25日(土) 群馬 7月26日(日)

7月・8月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

- ディスプレイの精度管理セミナー【オンデマンド講習】：Web開催 2026年8月 1日(土)～9月10日(木)
※実技講習会の申し込みはオンデマンド講習修了者のみとなります(会場は第42回日本診療放射線技師学術大会内)。申し込み方法はオンデマンド講習の最後にご案内します。
- がん対策委員会 Webセミナー 肺がん検診の現在と未来—予防医学・AI・最適化の視点から—
：Web開催 2026年8月 9日(日)
- 国際認定試験 (MRI・医療画像情報精度管理士)：郵送による試験を予定 2026年8月30日(日)

[e-ラーニング (ストリーミング方式)]

- 放射性医薬品取り扱いガイドライン講習会 2026年8月12日(水)正午まで申し込み受け付け
※2026年8月20日(木)午前0時から9月20日(日)午後11時59分までに受講してください。
なお、確認試験もオンラインで実施致します。
※詳細は右の募集サイトをご確認ください。 <https://forms.gle/hFCYJF434URelqX97>
- 認定資格の取得を目指す受講生の募集 2026年7月7日(火)午前0時から2027年2月1日(月)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から各認定資格試験終了日前日まで何度でも視聴いただけます。
※本講習会を修了しないと、認定資格試験のお申し込みはできません。
- JART 会員向け原子力災害医療基礎研修 2026年7月1日(水)から2027年1月17日(日)まで申し込み受け付け(予定)
※右の「被ばく医療研修ポータルサイト」より申し込みください。 <https://retms.nirs.qst.go.jp>
※申し込みの際、JART会員番号の記入や個人情報の取り扱いなどについて注意事項がありますので、「JART 会員向けR8年度基礎研修募集要項」を必ずご確認ください。
- 生涯教育 クリニカルリーダー (e-ラーニング) セミナー 2027年1月27日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2027年3月3日(水)まで何度でも視聴いただけます。
- 生涯教育 マネジメントリーダー (e-ラーニング) セミナー 2026年7月7日(火)午前0時から2027年1月27日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2027年3月3日(水)まで何度でも視聴いただけます。
- 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理のための研修 (在宅) 2026年7月7日(火)午前0時から2027年1月27日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2027年3月3日(水)まで何度でも視聴いただけます。
- 告示研修 (基礎研修) 2027年3月31日(水)午後11時59分まで何度でも視聴いただけます。
- 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針オンラインセミナー 2027年3月31日(水)午後11時59分まで何度でも視聴いただけます。

※このご案内の公開時に、定員に達して申し込みができない講習会・セミナーがある場合がございますのでご了承ください。

事務所案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。